

令和3年度

事業計画書

文京区地域公益活動ネットワーク

令和3年度 文京区地域公益活動ネットワーク事業計画

(令和3年4月1日から令和4年3月31日まで)

現在、地域では既存の制度だけでは支援することが難しい課題が増加しています。また、新型コロナウイルスの流行という非常事態に際し、困難な状況にある家庭や子ども、これらの課題に対応していくために、形を変えながらもニーズに基づいて迅速に対応していくことが重要です。ネットワークであるという強みを活かしながら、地域の実情に応じて必要な支援を届けることができるように柔軟な対応の検討が求められています。

また、このような状況下であっても夢の本箱のプロジェクトが途切れることなく継続できたことは、本を通じた「夢の本箱」が地域の方々の中に定着してきた証でもあると感じます。

令和3年度も、これまでの活動をさらに促進、発展させ柔軟に地域のニーズに対応できるよう、次に掲げる活動によって、文京区における子どもの課題に取り組んでいきます。

1. 「夢の本箱」の推進

令和2年度の活動では、区民の皆さんへの周知も徐々に広がり、安定的なご協力をいただくことができました。また、ご協力いただける団体等も徐々に増えてきました。

令和3年度の活動では、企業や、大学への協力依頼を積極的に行い、協力体制の充実を図ります。本を集めるだけでなく、集めた本の売り上げによってどのような子どもの食支援ができたのかということなどの活動の意義を地域の方に対して発信していくことができるよう、周知・広報に力を入れていきます。また、法人内部でも同様に取組みの意義を共有できるよう、活動の可視化を行っていきます。

2. こども食堂及び地域活動団体の活動支援

令和2年度に引き続き、給食のない期間、夏休みや冬休み、春休み期間中に行う子ども食堂を支援します。また、新型コロナウイルス流行によって困窮しているなど、支援が必要な家庭や子どもを見守り、居場所づくりを行う団体の活動を支援します。

3. 新たな課題への対応

これまで行ってきた様々な活動を通じて、既存の制度や支援の仕組みでは、対応が難しい新たな課題があることがわかってきました。例えば、支援を受けることへの抵抗があり、支援が必要な状況にあっても、アクセスすることが困難な状況があることがわかりました。このような状況の中で、支援へのつながり方には様々な入り口が必要です。子ども食堂などの取組みを行っている地域活動団体の他に、“食“というテーマで地元商店との連携を図る等、つながるための選択肢が様々あることが重要です。困窮している子どもやその家族を持続可能な形で支援する仕組みづくりを柔軟に検討し、実行できるようにしていきます。

文京区地域公益活動ネットワーク

事務局

〒113-0033 東京都文京区本郷 3-15-14 文京区民センター4 階

Tel:03-3812-3040

Fax:03-5800-2966